

据付説明付き

取扱説明書 クーリングコイル (業務用)

品番 CC-SD12000P



CC-SD12000P
製品には注意ラベルが貼付されています。

上手に使うって上手に節電

もくじ

ご使用前に

- 安全上のご注意 2～4
- 各部のなまえ 5

据付けのしかた

- 設置について 6～12
- 電気配線工事について 13
- 試運転について 13

操作のしかた

- ご使用方法 14

その他

- 点検とお手入れのしかた 15～16
- 修理を依頼される前に 17
- 修理について 18～19
- 仕様 20
- 製品取付天井寸法 21
- 製品電気回路図 22
- 配線図 23～24

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」(2～4ページ)を必ずお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	--

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

警告

 **異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源回路を切る**

〈発煙・発火、感電のおそれ〉

異常・故障例

- 漏電遮断器が自動的に「切」になる。
- 運転中、焦げ臭いにおい、異常な音がする。
- 電源線が異常に熱い。
- 災害で製品が水没した場合。
- ビリビリと電気を感じる。

● すぐにお買い上げの販売店にお問い合わせください。

 **アースを接続する**

〈漏電時に感電のおそれ〉

- アース工事は必ず専門の業者に依頼してください。

アース接続

■ **電源線は…**

 **次のことをしない**

〈火災や感電のおそれ〉

禁止

- 傷つけない、破損しない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
- ぬれた手で電気部品に触れない。

 **次のことを守る**

〈火災や感電のおそれ〉

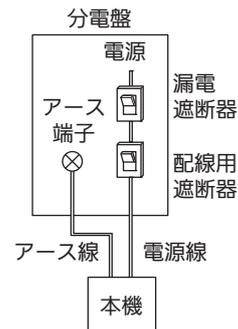
- 電源は専用回路を設ける。

■ **電気工事について…**

 **専門業者に依頼する**

- 電気工事とは…
 - 漏電遮断器を取り付ける。
 - 配線用遮断器を取り付ける。
 - 分電盤のアース端子に接続する。
 - 電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行なう。

(火災や漏電のおそれがあります。アースが不完全な場合は、感電のおそれがあります。)



■お使いのときは…

禁止

次のことをしない

〈火災や感電のおそれ〉

- 揮発性・引火性のある物は庫内に入れない。
- 可燃性スプレーを製品の近くで使用したり、可燃物を置いたりしない。
- 製品の外側や庫内に直接、水をかけたり、水洗いしたりしない。
- ぬれた手でスイッチを操作しない。
- 分解や修理・改造は絶対にしない。
- 製品の外側にねじなどを打ち付けない。

〈引火爆発・火災のおそれ〉

- ガス漏れに気づいたら製品やスイッチに手を触れない。

〈やけど・けがのおそれ〉

- 吹出口・吸込口・可動部に指や棒を入れない。

**次のことを守る**

- 食品の一時保存用として使用する。

〈引火・爆発のおそれ〉

- ガス漏れに気づいたら窓を開け換気する。

■使用温度範囲を守る

- 仕様欄を確認し、適切な機種を適切な温度範囲で使用する。

■設置のときは…

禁止

- 設置・移設は専門業者以外では実施しない。
- 水のかかりやすい場所に据え付けない。
- 屋外で使用しない。

〈ショート・感電のおそれ〉

- ドレンホースに巻いてあるヒーターを切断しない。(Hタイプ)



- 据え付けは専門業者に依頼してください。専門業者以外で工事をされると水漏れ、感電、火災の原因になります。

- 重量に充分耐える水平な所に確実に据え付ける。

■お手入れや整備・点検のときは…

〈けが・感電のおそれ〉

- 必ず電源回路を切る。

■保管・廃棄時は…

禁止

- 子供が遊ぶ可能性のある場所には放置しない。(閉じ込めなどのおそれがあります。)



- テープやロープなどで扉が開かないように固定する。(閉じ込めなどのおそれがあります。)

- 雨水のかからない場所に保管する。(漏電、感電のおそれがあります。)

- 製品の廃棄は専門業者に依頼する。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 使用を終了した製品は、万一の落下防止のため放置せずに撤去をする。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

■お使いのときは…



禁止

- 運転中の製品に手を触れない。

〈酸素欠乏のおそれ〉

- 腐食性ガスを発生する食品は、無包装のまま貯蔵庫に入れない。

〈やけど・感電のおそれ〉

- 露出している配管や配線には触れない。



〈貯蔵物梱包材の劣化のおそれ〉

- 貯蔵物は運転中の製品に触れない場所に貯蔵する。
- 異常運転停止の場合には、商品の温度上昇を防止する。商品の移動もしくは貯蔵庫内にドライアイスなどを入れる。

■設置・移動・保管・廃棄時は…



禁止

- 温泉地や海岸付近での使用・保管は、故障の原因になることがあります。(硫酸分や塩分が多いため)

- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所へは設置しない。



- 排水工事を確実にを行う。

■お手入れのときは…

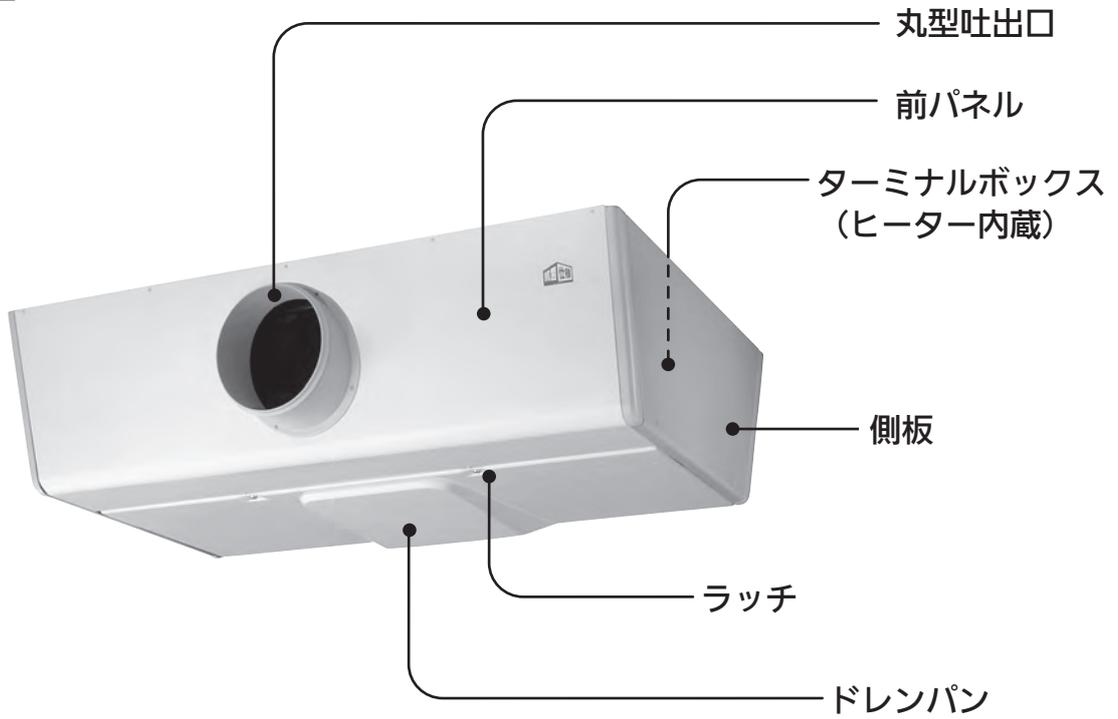


- 漏電遮断器は、定期的（一年に一回以上）に動作確認をしてください。点検方法はご購入の販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

各部のなまえ

品番：CC-SD12000Pで説明しています

正面



裏面



設置について

据え付けの前に

■ 下表を参考に本製品の付属品を確認してください。

名 称	個数
ドレンホース取り付けねじ	1
取扱説明書	1

■ 冷媒配管の接続仕様は下記のとおりです。

冷媒入口	φ12.7 mm FN (3/4 -16UNF)
冷媒出口	φ25.4 mm OD 溶接
冷媒出口外部均圧管	φ4.0 mm FN (7/16 -20UNF)

■ 端子台に使用する丸端子はご使用になる電気回路の電流値・配線距離により下記の中から選定してください。

メーカー	日本圧着端子製造 (株)
型式	R1.25-4
型式	R2-4
型式	3.5-R4

※端子加工の際は、端子メーカーが指定する適用圧着工具を使用して加工してください。

設置について

ご用意するもの

■クーリングコイルを設置するにあたり、付属品以外に下記のものが必要です。

クーリングコイルの据え付けに必要なもの

	呼び	個数
ボルト	M 12	4
ナット	M 12	8
ばね座金	M 12	4
平ワッシャー (みがき丸)	M 12	8

冷凍回路や電気制御回路等との接続に必要なもの

電磁弁	ご使用の冷媒、冷却ユニットの仕様および設置先冷却回路より最適のものを選定してください。
膨張弁 (外部均圧式)	ご使用の冷媒、冷却ユニットの仕様および設置先冷却回路より最適のものを選定してください。
銅配管	クーリングコイルの冷媒入口・出口管の接続仕様をご覧になり適正サイズを選定してください。その他の配管は冷却ユニットやその他接続機器の取扱説明書ならびに施工説明書を良くお読みになって選定してください。
ドレン用配管	ドレン接続仕様をご覧になり選定してください。
接続電線	設置機種仕様、必要電線長さ等より選定してください。
丸端子	P6をご覧ください。
結束バンド	電気の配線処理に使用します。

ご注意

- ・ソックダクトおよびその取り付け部品は、現地に合わせて別途手配してください。
- ・ソックダクトについては、P10を参照願います。

使用工具

- ・電動ドリル
- ・スパナ
- ・ロウ付け用バーナー
- ・ドライバー (+)
- ・パイプカッター
- ・圧着機
- ・フレアツール
- ・プライヤー (ペンチ)

■ねじの締めつけトルクは下表を参考としてください。

	締めつけトルク (N・m)	対象部品
M 4 ねじ	0.9	外装カバー取り付けなど
M 5 ねじ	1.7	電装箱取り付け・ドレンパン取り付け・ファンガード取り付けなど
端子ねじ	1.62 ~ 1.98	端子台への端子取り付け

■フレアナットの締めつけトルクは下表を参考としてください。

パイプ径	締めつけトルク (N・m)	パイプ径	締めつけトルク (N・m)
φ 6.35 (1/4")	12 ~ 17	φ 15.88 (5/8")	54 ~ 63
φ 9.52 (3/8")	31 ~ 38	φ 19.05 (3/4")	72 ~ 82
φ 12.7 (1/2")	44 ~ 54		

設置について

事故・損害（故障）免責のご注意

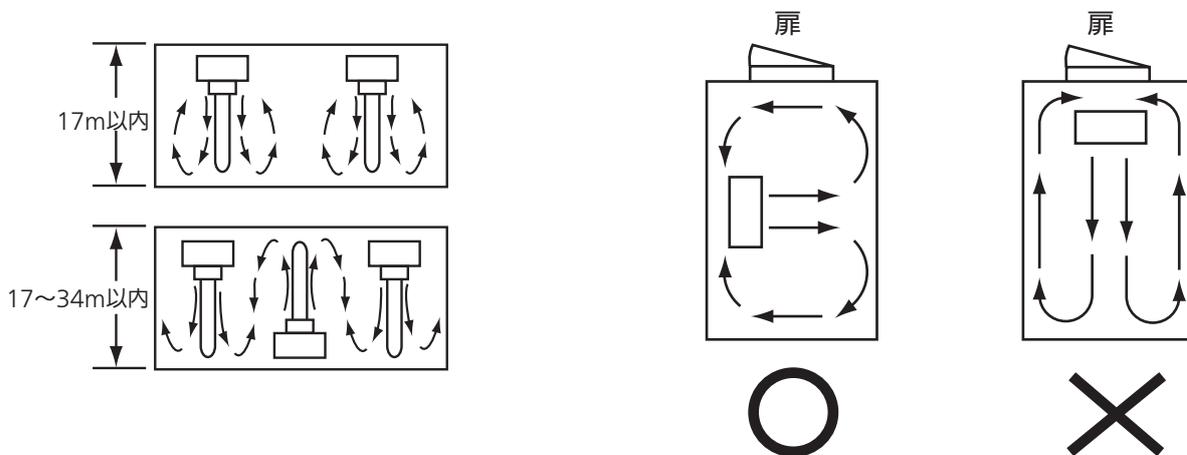
■本書説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が発生した場合には、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合には、当社保証の対象外となります。

設置場所

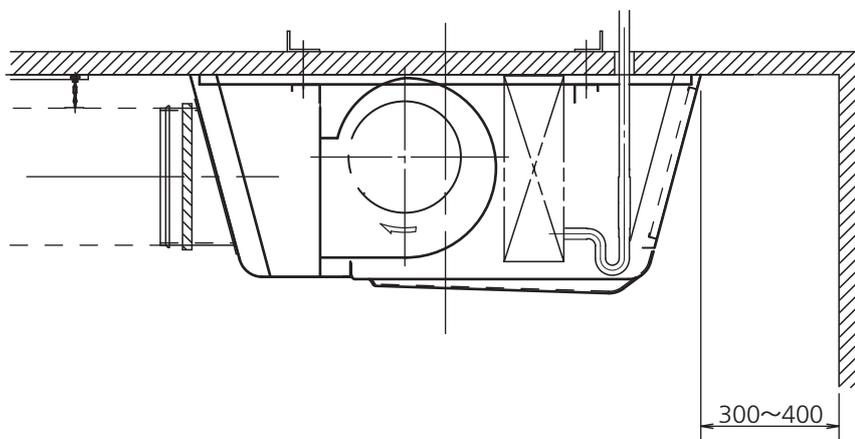
■温泉地や海岸付近での使用・保管は、故障の原因になることがあります。
(硫酸分や塩分が多いため)

■冷蔵庫寸法が17m以内の場合は、クーリングコイルを片側方面に並べてください。17mを超える場合は、両側に向かい合わせに取り付けてください。

■クーリングコイルを扉の近くにおきますと、扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸い込み、着霜が増し、能力が低下し、冷えない現象になりますので注意してください



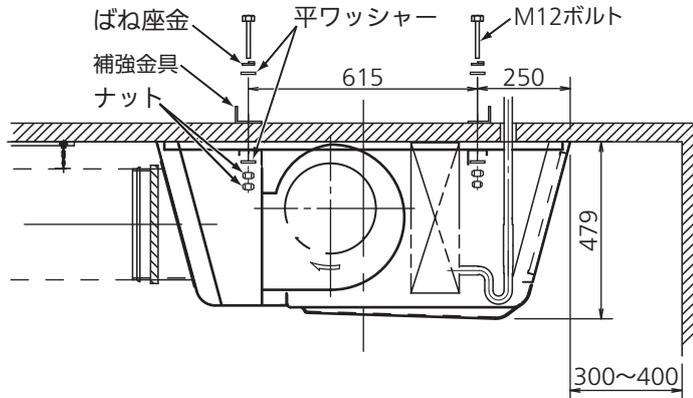
■クーリングコイルは、冷蔵庫の天井に直接取り付けます。
本体は冷却器裏面が壁面に向くよう取り付け、冷気の循環と取り付け工事、サービス等の施工を考え、後部と壁面には300~400mmの間隔をあけてください。
また、ターミナルボックス側と冷蔵庫壁の間隔を広く取ると、保守点検に便利です。



設置について

据え付け方法

- ①クーリングコイルは、冷蔵庫の天井に直接取り付けます。
天井に取り付け穴φ14 mmを4ヶ所開け、M12ボルトを通して下側からナット等で固定します。

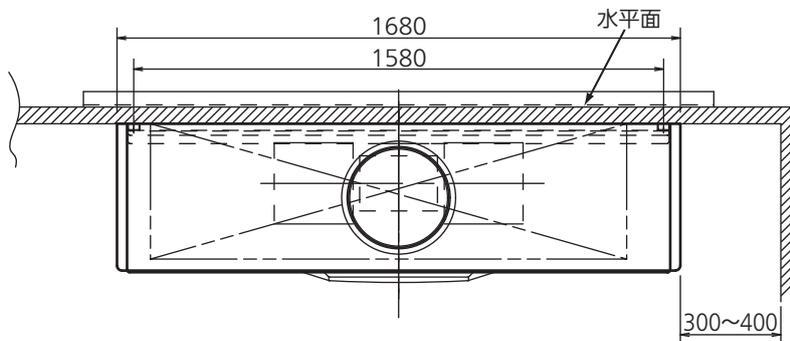


- ※クーリングコイルハンガー金具と天井を密着(面接触)させてください。
※上図のように、プレハブ冷凍冷蔵庫の天井パネル外側に充分補強を行い、ボルト・ナット等でしっかり固定してください。天井パネルとの固定が不十分ですと、クーリングコイル本体が振動し、異音やファンモーター等の故障の原因となることがあります。

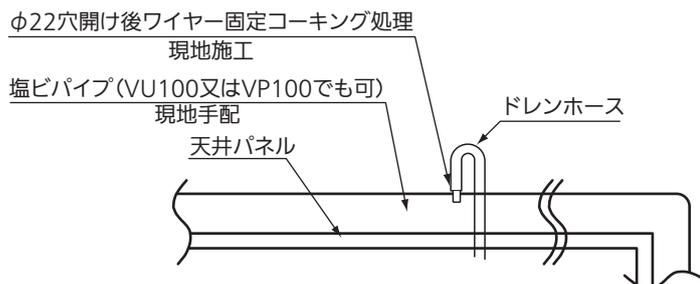
【振動・異音が生じた場合の対処方法】

- クーリングコイルを天井パネルに固定しているボルトとナット等を、製品落下等の危険が無い程度に一旦緩めて、締め直してください。
対角の順番で均等になるように調整し、ボルトとナット等を締め直すことで、振動や異音が低減することがあります。

- ②排水をスムーズにするため、クーリングコイル本体を水平に取り付けてください。



- ③ドレンホースを天井から庫外に出してください。
天井裏に塩ビパイプ（VU100またはVP100）をはしらせておき、それにホルソーでφ22の穴を開け、ドレンホースの先端を挿入し、ワイヤー固定を行いコーキング処理をほどこしてください。



設置について

外気導入について

- 本体のエア吸込側（エアフィルター側）およびその付近で外気を導入しないでください。冷却器が霜閉塞し、冷却不良になったり外装パネルに結露する原因となります。

ソックダクトについて

- ソックダクトおよびその取り付け部品は、現地に合わせて別に手配してください。

ソックダクト（ソックフィルター）／ダクトバンド／吊レール／フック／（ばたつき防止用整流布、ストレーナ）（ダクトバンド、吊レール、フックなどは、ステンレス製を手配してください。）

本製品は下記の推奨品が直径φ300mm、長さ5～15m（CC-SD12000P）範囲で使用可能です。

発売元	(株)オーツカ	青葉化成(株)
タイプ	AIR-SOX #5	電石サニーマニフィルター

※購入等については担当の営業マンにご相談ください。

- ※仕様の冷凍能力はソックダクト(15 m)を使用したときの試験値で、短いソックダクトを使用しますと、冷凍能力は低下しますので考慮ください。また、ソックダクトの種類によっても冷凍能力は変わります。
- ※冷凍機の低圧設定(蒸発温度)が低すぎると冷却器の露付きの要因となりますので、設定温度に見合う適正な低圧設定(蒸発温度)をしてください。

■ばたつきについて

ソックダクトが10m以上になるとばたつく場合があります。ばたつく場合は、ご使用のソックダクト発売元にご相談の上で、ばたつき防止用整流布または、ストレーナをご使用ください。また、ソックダクトの先端部を引っ張るとばたつきを抑える効果があります。

設置場所の出入口について

- 食品等の搬入搬出および作業者の出入りの際に高温多湿の外気が大量に冷蔵庫内に流入しないようにしてください。外装パネルに結露する原因になります。大量の外気の流入を防ぐ方法として、出入口にプラスチックカーテンや前室を設けるなどがあります。

アース工事のお願い

ご使用前にアースが正しく確実に、取り付けられているかご確認ください。

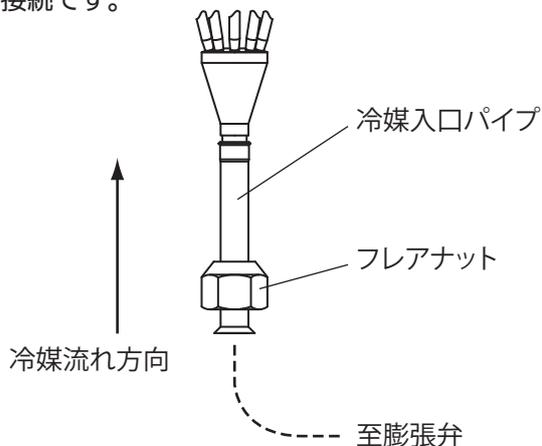
- 本製品は安全のため、必ずアース工事を行なってください。（専門の業者によるD種接地工事が必要です。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています。）
- ご不明な点はお買い上げの販売店、または専門の業者にご相談ください。



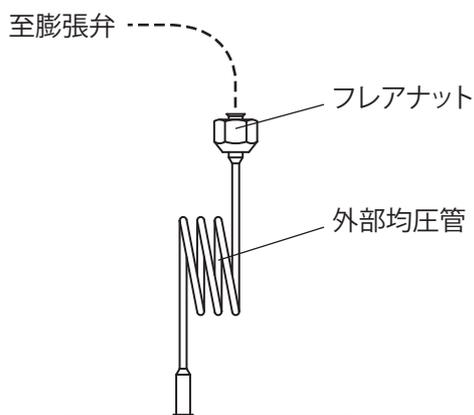
設置について

冷媒入口パイプの接続

- 膨張弁の大きさ・形状などを検討のうえ膨張弁の配置・配管を決めてください。
冷媒入口パイプはフレア接続です。



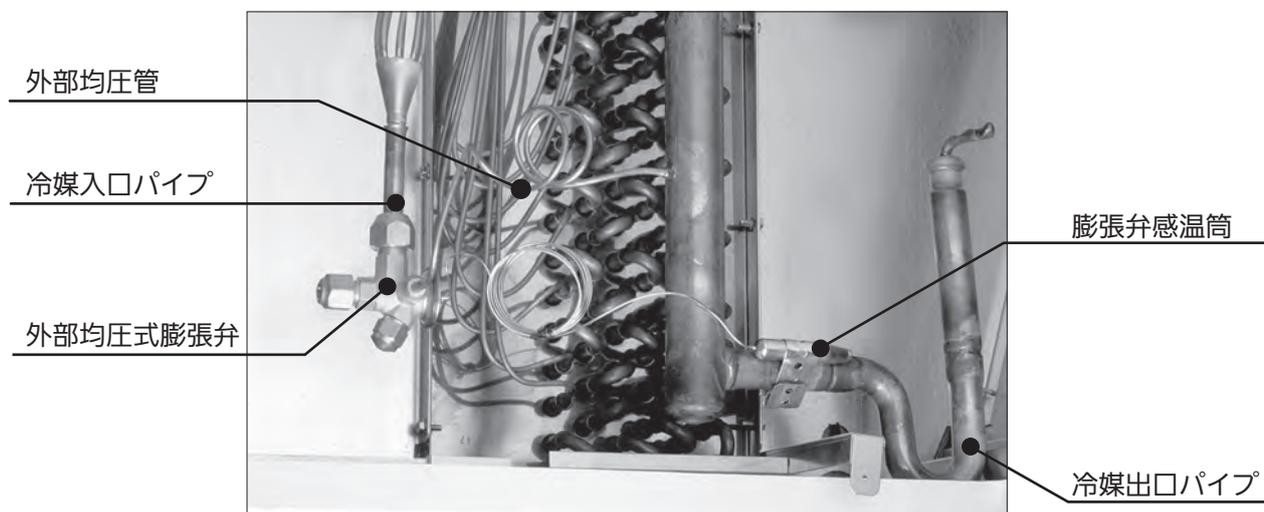
- 本機冷媒出口管の外部均圧管は、膨張弁の外部均圧口に接続してください。



- SDシリーズクリーニングコイルは、冷媒入口パイプに外部均圧式膨張弁をご使用ください。

ご注意

外部均圧管はクリーニングコイル冷媒出口パイプに装備されています。
膨張弁取り付け時、外部均圧管等がリード線に接触しないようにしてください。



設置について



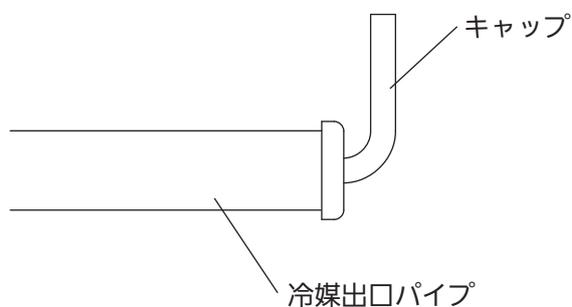
溶接は有資格者が行う



配管の溶接・溶断は、法令により定められた有資格者が行なってください。

冷媒出口パイプの接続

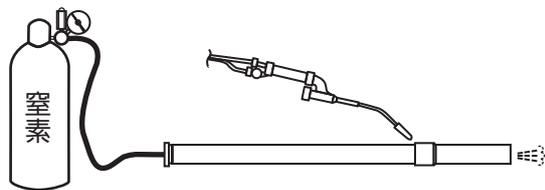
- 冷媒出口パイプには、キャップがロウ付けされています。
ロウ付け用バーナーにてキャップをあぶり、はずしてからUトラップ管をロウ付けしてください。



■溶接接続

溶接時には必ず、乾燥窒素ガスを通しながら溶接を行ない、配管内に酸化スケールが生成しないようにしてください。

また、配管の溶接時に炎がユニット内の電気配線や、内部の他の機器などに当たらないようにストレート板などで保護してください。



電気配線工事について

- 電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行なってください。電源回路不良、容量不足、施工不備があると火災や漏電の原因になります。

感電防止

- 安全のためD種接地工事によるアース（接地）を取り付けてください。電気設備技術基準により、アース工事をするほか、万一の感電や火災を防止し安全に使用していただくため、必ず漏電遮断器を取り付けてください。アース工事と漏電遮断器の設置は、お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。
- 電源は、高温部（コンプレッサー、凝縮器、吹出配管）および金属のエッジ部に接触しないようにしてください。直接接触すると配線被覆の損傷により漏電の原因となります。

試運転について

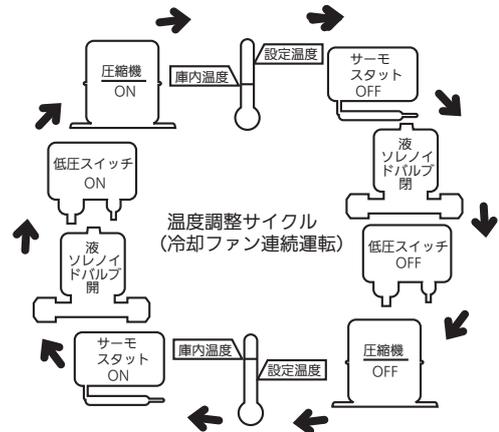
- クーリングコイルおよび室外機の設置、配管、配線工事終了後、試運転を行ってください。
- 試運転にはお客様に立合いをお願いして行い、実際に冷えているのを確認してください。
- 「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。そして、「安全上のご注意」、「ご使用方法」、「お手入れのしかた」などをご説明ください。

ご使用方法

温度調節について

■温度調節サイクル

- ① 市販の温度調節器（サーモスタット）、液電磁弁が必要です。
- ② 庫内温度がサーモスタットの設定温度以下に冷えると、サーモスタットの作動により液電磁弁を閉じて運転するため、低圧圧力が下がることで低圧スイッチがOFFし、圧縮機は停止します。この時、冷却ファンは連続運転します。
- ③ 庫内温度がサーモスタットの設定温度以上に上昇した場合、サーモスタットがONし、液電磁弁が開いて、冷却器に冷媒が流れ込むことで低圧圧力が上昇し、低圧スイッチが復帰して圧縮機は再び運転をはじめます。



このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

なお、弊社マイコンコントローラーSEC-C230T、クーリングシステムコントローラーSDT-12S1などをご使用になると現地での電気工事の短縮が図れます。

霜取りについて

- 冷蔵庫の使用温度は、+5℃から+25℃までです。霜取りは、オフサイクル霜取りで行なってください。

冷蔵庫内温度に対する霜取り回数、霜取り時間は、以下の値に設定してください。

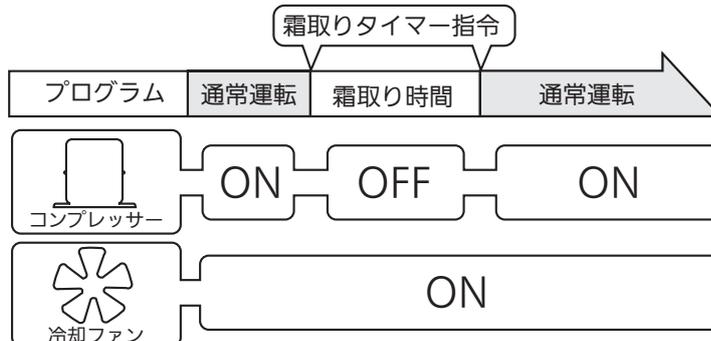
庫内温度 (℃)	霜取り回数	霜取り時間
5 ~ 9	24回/1日	15 ~ 20分/1回
10 ~ 14	12回/1日	15 ~ 20分/1回
15 ~ 25	6 ~ 8回/1日	15 ~ 20分/1回

このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

オフサイクル霜取り

- 冷蔵庫の温度が+5℃を越える場合に使用されます。霜取りはタイマーによって開始され、圧縮機は停止して冷却ファンのみ運転します。冷却器に付着した霜は、冷蔵庫内の空気によって溶かされ、除霜することができます。

霜取りサイクルプログラム



点検とお手入れのしかた

警告

製品の外側や庫内に直接水をかけたり、水洗いしたりしない



水ぬれ禁止

ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。

ぬれた手で電源回路のスイッチを操作しない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

お手入れのときは必ず電源回路を切る



火災や感電のおそれ

クリーニングコイルケース（外側）

■柔らかい乾いた布でから拭きしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた後、水を浸した布で拭きとってください。

アルカリ性または酸性洗剤・酸・油類・シンナー・ベンジン・アルコール・みがき粉・粉せっけん・熱湯・たわしを使用すると塗装やプラスチックを傷めますので使用しないでください。

台所用中性洗剤は容器に書いてある使用方法にしたがってください。

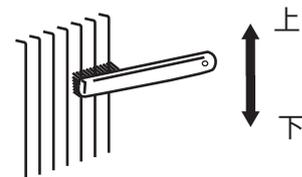
●いつも清潔にご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

ドレンパン

■ラッチをドライバーで反時計方向に回すと、簡単にドレンパンが開きます。底部を清掃してください。

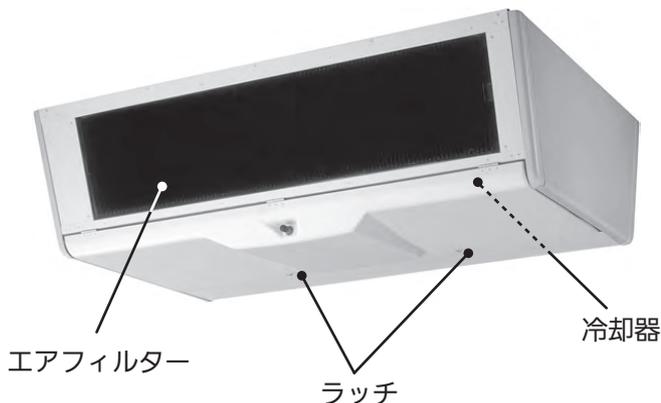
冷却器

■フィンを傷めないように目にそってハケ、ブラシなどで清掃してください。



エアフィルター

■冷却器裏面側に取り付けられているエアフィルターを月に1～2度定期的に取りはずし、ブラシか水洗いで清掃してください。水洗いしたときは、日陰でよく乾かしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。



点検とお手入れのしかた

ソックダクトの洗浄方法

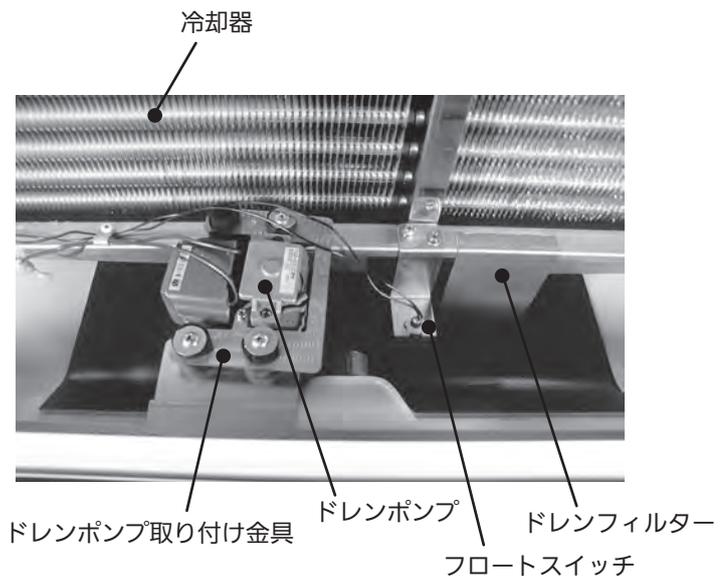
- ソックダクト本体はフィルター効果がありますので、長期間使用しますと目詰まりを起こして、適正な風量を確保できなくなり、冷却能力が低下します。
一般的に、6ヶ月に1度洗浄を行なってください。
ただし、高温、多湿、ほこりの多い場所や医療、食品などの条件の厳しいところでは、2～3ヶ月に1度の割合で洗浄してください。
具体的な方法は、ご使用のソックダクト取扱説明書をご覧ください。

ドレンポンプ

- ドレンフィルターは定期的に掃除を行なってください。
ゴミ詰まりによるオーバーフローの原因になります。
※掃除のめやす：標準使用時は3ヶ月に1回、また使用環境によって適時掃除を行なってください。
なお、3年を過ぎてからは定期的にドレンポンプモーターの動作確認を行い、異常がみられる場合は、早めのモーター交換をお勧めします。

ほこりや排気ガス等の多い設置環境では、フィルターが激しく汚れます。そのため頻繁にフィルタ掃除をしてください。頻繁にフィルター掃除ができない現場ではドレンポンプを使用しないでください。（19ページ参照）

ドレンポンプ用フィルターを掃除するには、本体裏面側に取り付けてあるエアフィルターを取りはずしてから、ドレンポンプ用フィルターを取り出します。



修理を依頼される前に

警告

ぬれた手で電源回路の
スイッチを操作しない



感電の原因に
なります。

ぬれ手
禁止

修理のときは必ず電源
回路を切る



火災や感電の原因に
なります。

以下のことをお調べになって、それでも調子が悪い場合、あるいは、万一異常な音、におい、煙が出た時はすぐに運転を停止し、電源回路を切って、庫内商品を別のケースに移すなどの処理をした上で、お買い上げの販売店に下記の“お知らせいただきたい事項”をご連絡ください。

症 状	原 因	処 置 方 法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電ではありませんか？ ● 電源が完全に入っていますか？ ● 漏電遮断器が働いていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源回路を確認してください。 (停電の際は安全のため、元電源を切っておいてください。) ● 電源スイッチを確認してください。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。
よく冷えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度調節は適切ですか？ ● 吸込口・吹出口を障害物でふさいではいませんか？ ● 食品を詰めすぎではありませんか？ ● 霜の取り残しはありませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定温度を確認してください。 ● 吸込口・吹出口を障害物を取り除いてください。 ● 貯蔵品の量を調整し、冷気の通路を確保してください。 ● 霜取り設定を見直してください。

お知らせいただきたい事項

- ①故障の状況 (具体的に、できるだけくわしくお知らせください。)
- ②品番 } (ネームプレートに記載してあります。)
- ③製造番号 }
- ④おなまえ、おところ、電話番号、道順 (分かりやすい目標物、棟、部屋番号までお知らせください。)
- ⑤お買い上げ年月日
- ⑥訪問ご希望日

修理について

警告

修理は販売店または、専門業者に依頼する



冷却運転中は高温になり、やけどの原因になります。

修理のときは必ず電源回路を切る



感電やファンによるケガ、ヒータによるやけどの原因になります。

注意

ヒータークリップを取りはずす場合、ドライバー等でこじらない



パイプの変形、ガス漏れの原因になります。

禁止

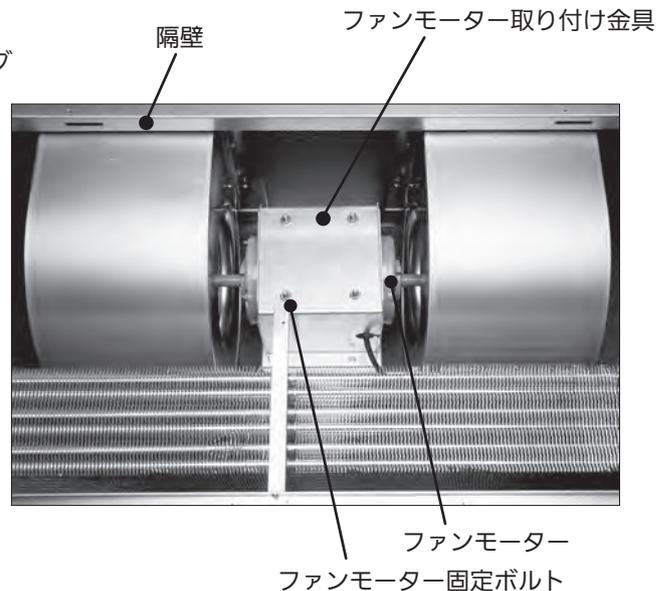
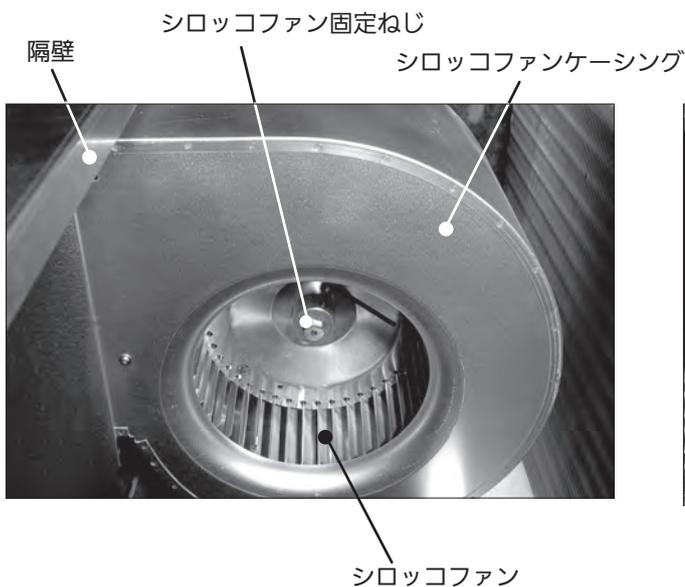
修理のときは手袋を着用する。



ケガの原因になります。

ファンモーターの交換

1. ドレンパンのラッチをゆるめ、ドレンパンを開きます。
2. 右側板、左側板および前パネルを取りはずします。(5ページ参照)
3. シロッコファンケーシングを固定している隔壁(吸音材が取り付けられています)を取りはずします。
4. シロッコファン固定ねじをゆるめ、シロッコファンケーシングと共に取りはずします。
5. ターミナルボックスを開き、ファンモーターリード線の端子を取りはずします。(5ページ参照)
6. ファンモーターリード線を取りはずします。
7. ファンモーター取り付け金具を固定しているねじをゆるめ、ファンモーターと共に取りはずします。
8. ファンモーター固定ボルトをゆるめ、ファンモーター取り付け金具から取りはずします。

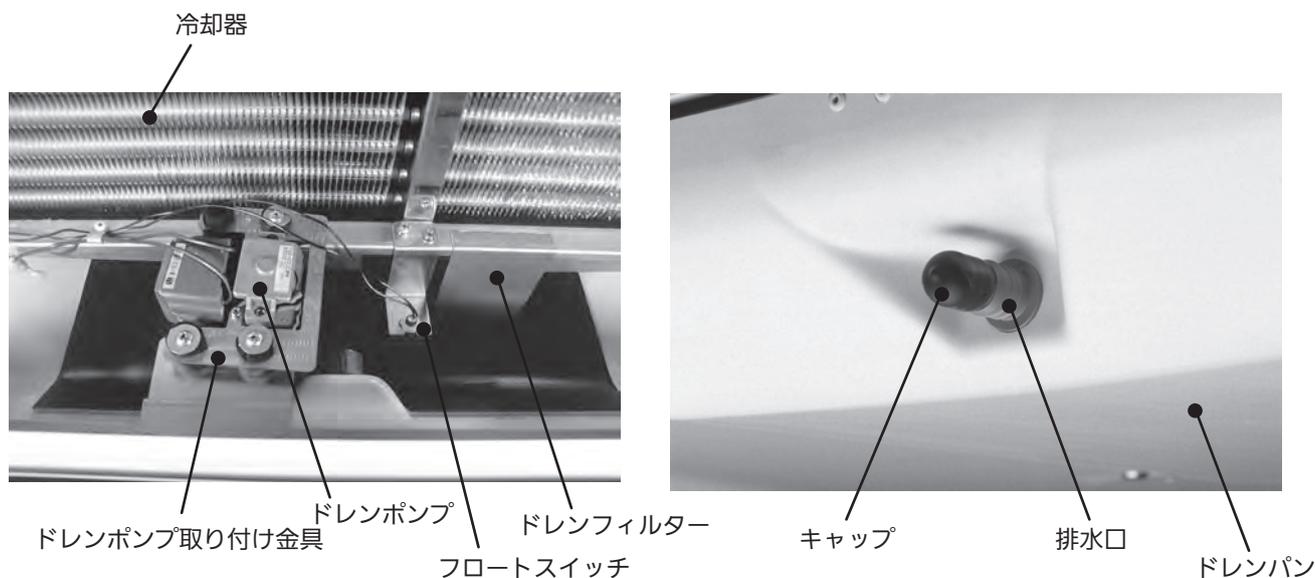


修理について

ドレンポンプの交換

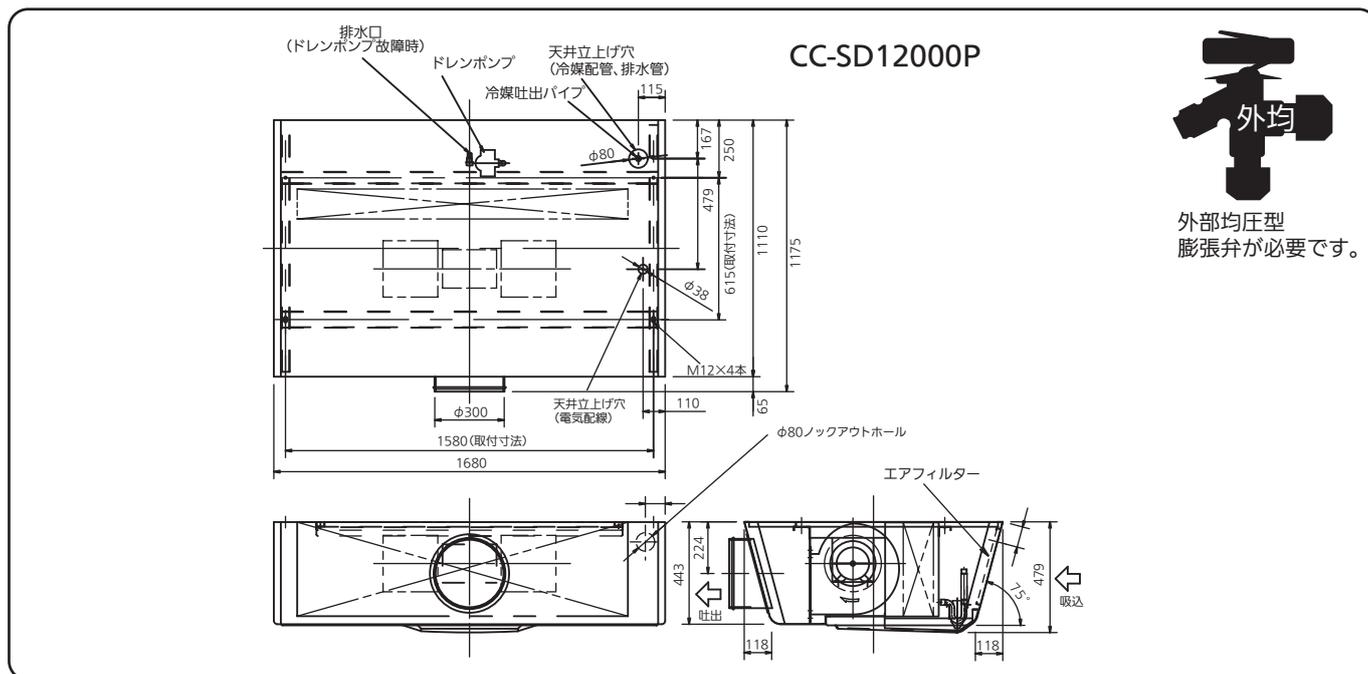
本機には、フロートスイッチが取り付けられています。ドレンポンプが故障した場合、ドレンパン内の水位が上昇し、フロートスイッチがOFFすることにより外部出力を取り出し可能です。(23ページ参照)

1. 冷却器裏面側に取り付けてあるエアフィルターを取りはずします。
2. 右側板を取りはずします。
3. ターミナルボックスを開き、ドレンポンプリード線の端子を取りはずします。
4. 排水ホースをドレンポンプから取りはずします。
5. ドレンポンプ取り付け金具を固定しているねじをゆるめ、ドレンポンプとともに取りはずします。
6. ドレンポンプ固定ビスをゆるめ、ドレンポンプ取り付け金具から取りはずします。



ドレンポンプが故障のまま冷却運転する場合は、そのままではドレン水があふれるため、ドレンパン後方の排水口キャップをはずし、ビニールホース（内径φ15）を取り付けてください。

仕様



外部均圧型
膨張弁が必要です。

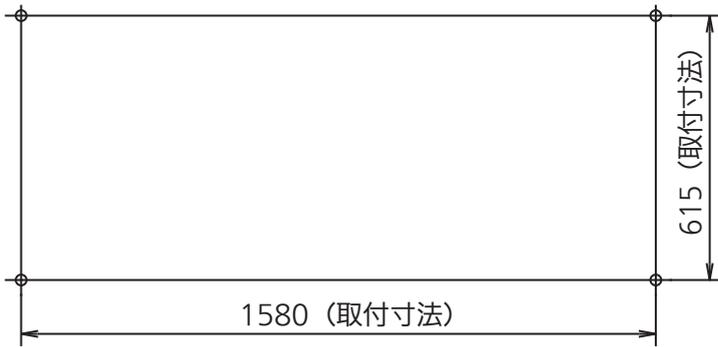
品番		CC-SD12000P
外装ケース		塗装アルミニウム、樹脂
使用温度		+25℃以下+5℃まで
フィンピッチ		4.23 mm
冷却面積		33.45 m ²
冷凍能力	10℃CTD	6 450 W/7 170 W
	15℃CTD	9 670 W/10 760 W
	20℃CTD	12 890 W/14 350 W
ファンモーター	出力	400 W/600 W (入力 50 Hz/60 Hz 219 W/291 W)
	始動電流	13 A/11.5 A
ファン直径		$\phi 257$ mm × 2
ドレンポンプ	出力	3 W (入力 15.2 W/13.2 W)
	排水量	600 cc/min (揚程500 mm)
	最大揚程	650 mm (500 cc/min)
風量		55 m ³ /min / 64 m ³ /min
電源		三相 200 V 50 Hz/60 Hz
総合消費電力	運転	0.219 kW/0.291 kW
	霜取り	0.219 kW/0.291 kW
総合消費電流	運転	2.50 A/2.11 A
	霜取り	2.50 A/2.11 A
霜取り方式		オフサイクル方式
ターミナルボックスヒーター		4 W
配管接続	冷媒入口パイプ	$\phi 12.7$ mmFN (1/2")
	冷媒出口パイプ	$\phi 25.4$ mmOD
	ドレン口	外径 $\phi 20$ mm
製品質量		108 kg
適用冷凍機		2.2 kW ~ 3.7 kW
適用ソックダクト		$\phi 300$ mm 長さ5 m~15 m
付属品		ドレンホース取り付けねじ、取扱説明書

※冷凍能力は、ソックダクト（15 m）を使用したときの実験値です。

※短いソックダクトを使用すると冷凍能力は低下します。また、ソックダクトの種類によっても冷凍能力は変わります。

製品取付天井寸法

対象機種 CC-SD12000P

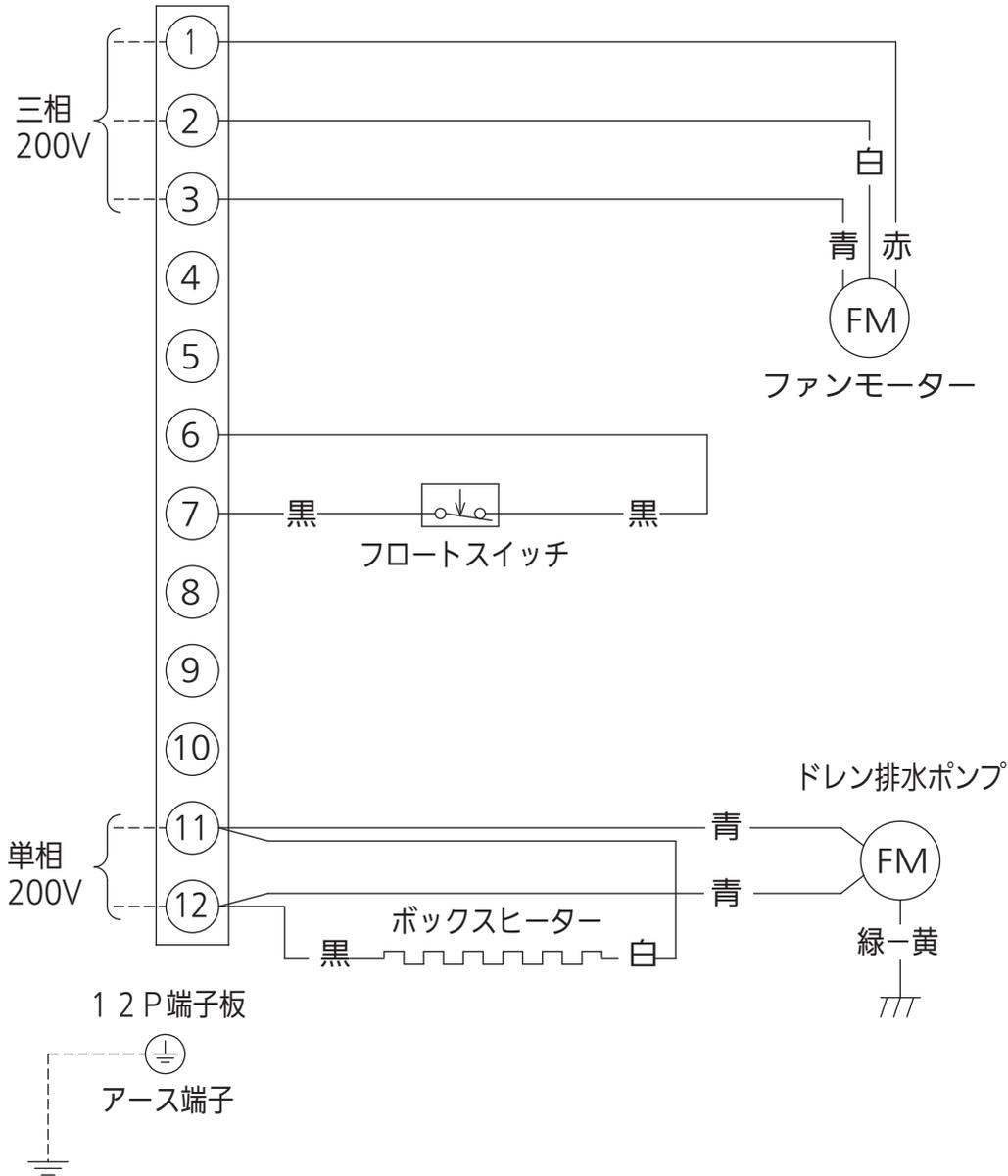


(製品前方)

単位：mm

製品電気回路図

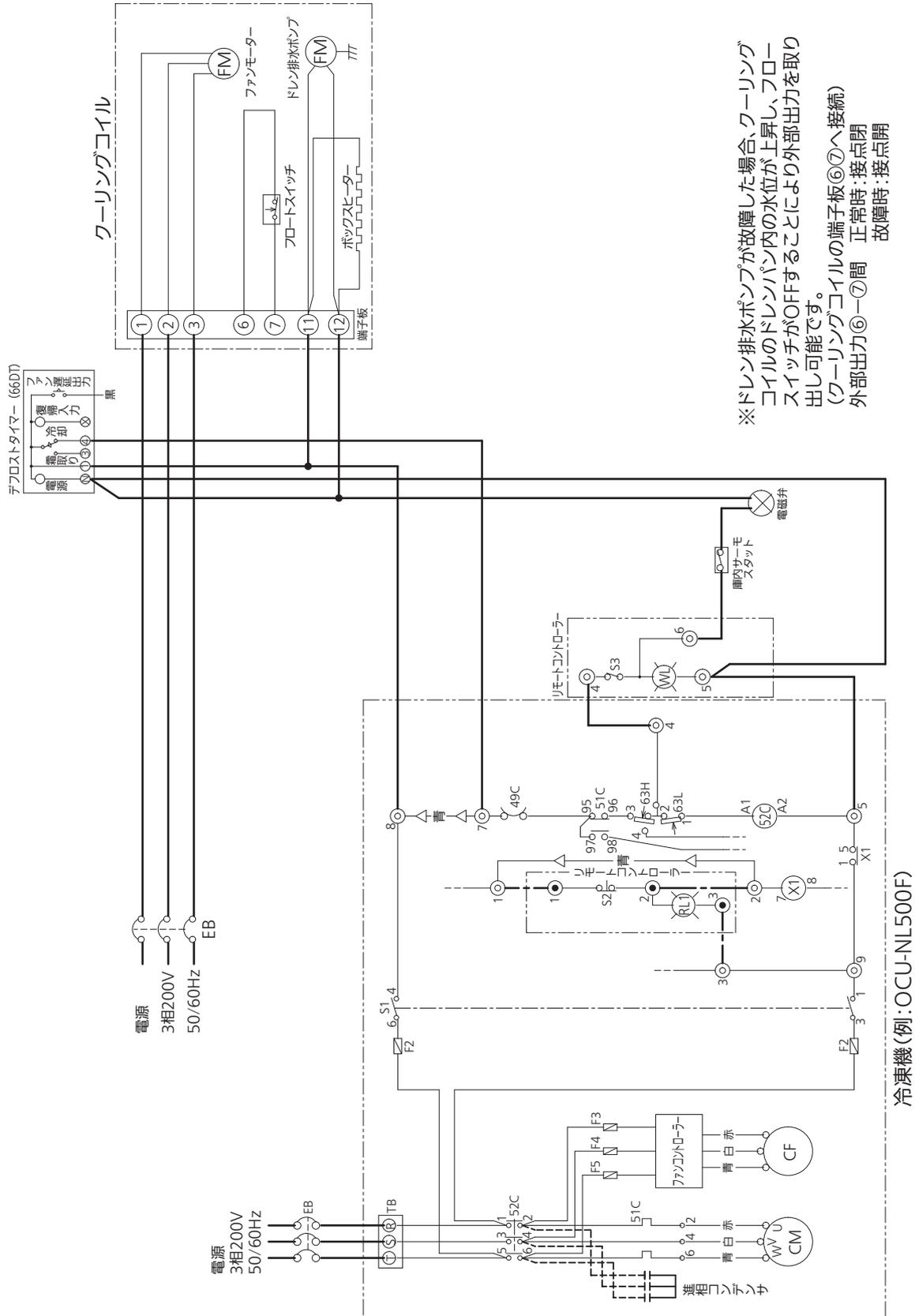
CC-SDタイプオフサイクル霜取り機電気回路図



注記 接点部の矢印は水位が上昇した場合の接点の動作方向を示します。

配線図

オフサイクル霜取り（1台連結）三相200V用（デフロストタイマーSDT-53TFを使用の場合）
電気配線図1

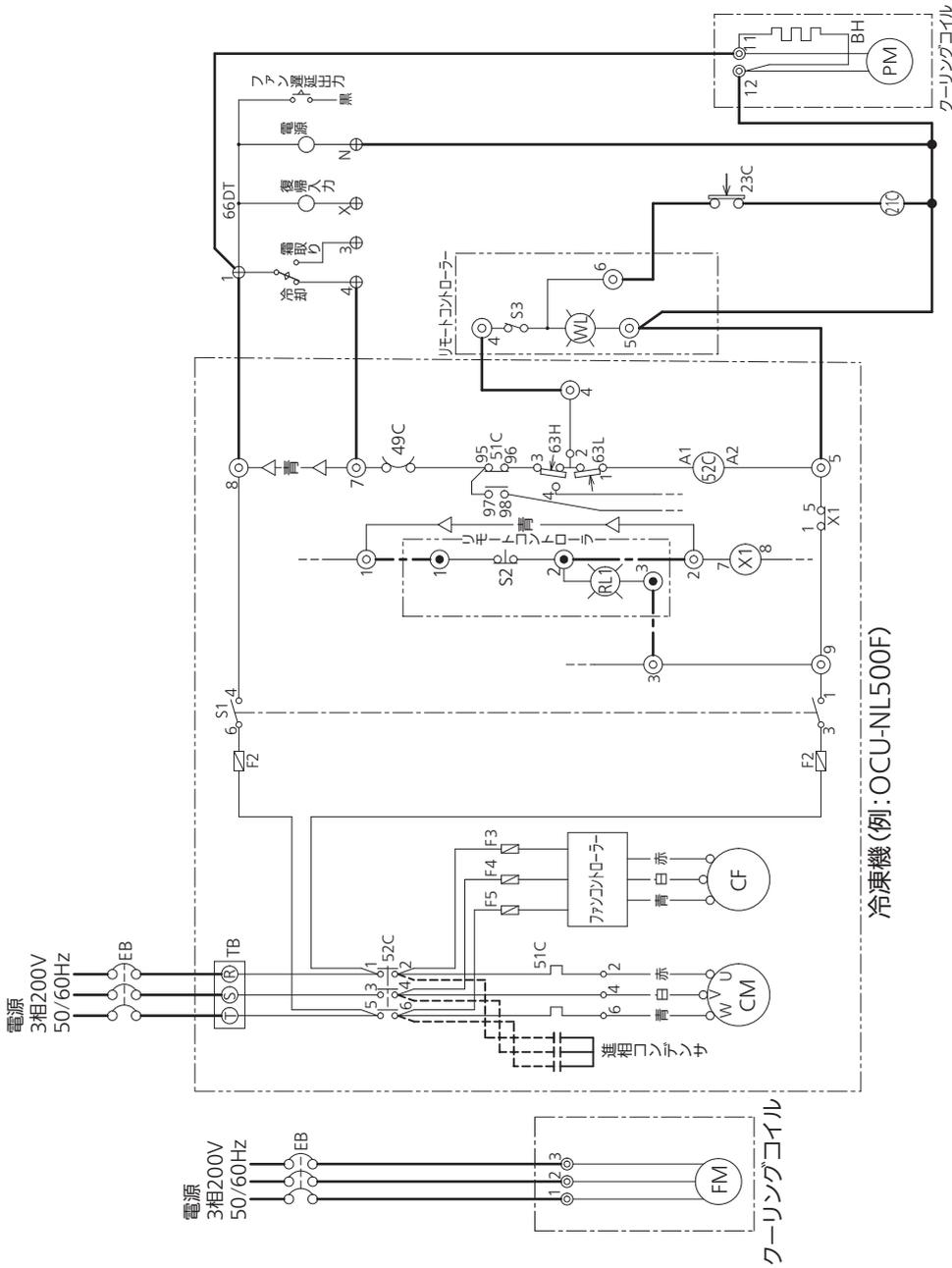


※ドレン排水ポンプが故障した場合、クーリングコイルのドレンパン内の水位が上昇し、フロートスイッチがOFFすることにより外部出力を取り出し可能です。
(クーリングコイルの端子板⑥⑦へ接続)
外部出力⑥-⑦間 正常時:接点閉
故障時:接点開

冷凍機(例:OCU-NL500F)

配線図

操作回路図1



記号	名称	記号	名称
F1,2	操作回路ヒューズ (AC250V, 5A)	CF	コンデンサファンモーター
S1	運転スイッチ	C2	進相コンデンサ
S2	警報リセットスイッチ (通電流・異常高圧)	EB1,2,3	漏電遮断器
S3	運転スイッチ (ポンプダウン用)	23C	漏れ漏れ調整用サーモスタット
X1	補助リレー	21C	電磁弁
WL	冷却運転ランプ (白色)	66DT	デフロスタイマー (SDT-53TF)
RL1	警報ランプ (赤色)	FM	ファンモーター
52C	コンプレッサ用電磁接触器	BH	ボックステイマー
51C	コンプレッサ用通電荷リレー	④	デフロスタイマー端子
49C	保護サーモ	⑤	端子板
63H,63L	高圧圧カスイッチ	PM	ポンプモーター
CM	コンプレッサモーター		

- ※冷凍機の端子板⑦、⑧間に結線されている青線をはずしてください。
- ※リモートコントローラを結線する場合は、端子板①、②間の青線をはずしてください。
- ※の配線は、現地で行なってください。二：二：内部は、工場にて配線済です。
- ※庫内サーモスタット、電磁弁、漏電遮断器、電磁接触器は、市販品をご使用ください。

⚠この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必要です。

◎お客様メモ

ご購入の際に記入しておいてください。修理など依頼されるとき便利です。

品番	
ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	電話 () -

パナソニック株式会社 コールドチェーン事業部

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

© Panasonic Corporation 2012-2020

部品品番
3FL6P110087006
C0412-6030